

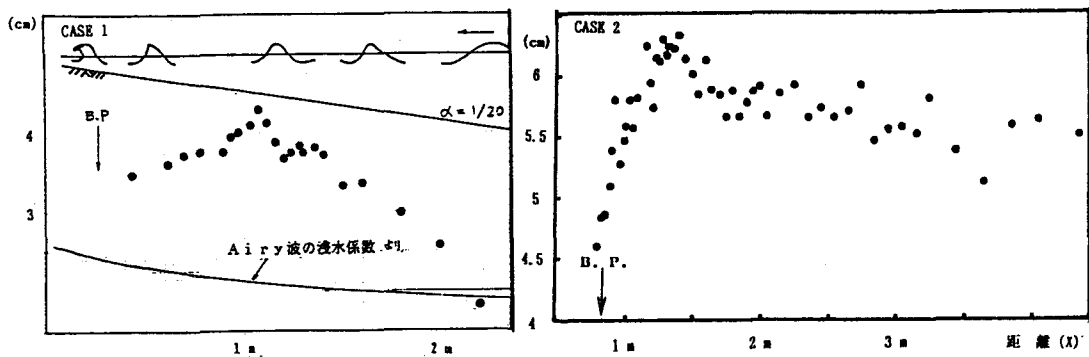


図-2 波高変化

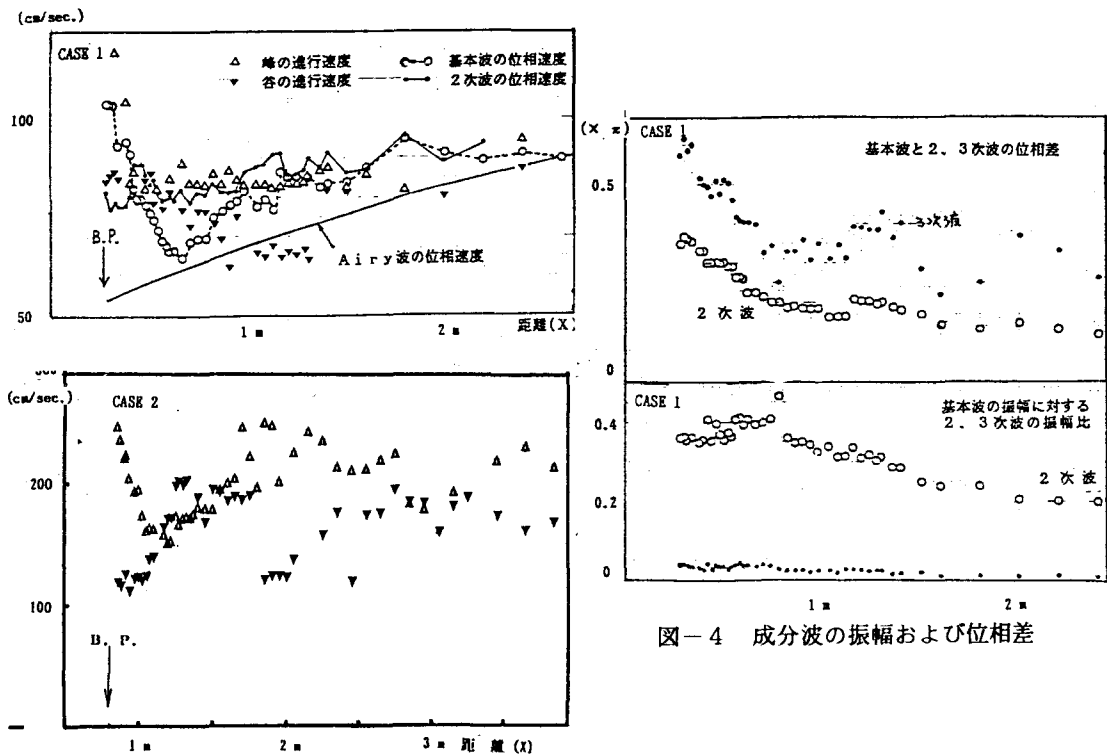


図-3 速度

図-4 成分波の振幅および位相差

対する成分波の位相差、振幅比を示している。波が斜面を進行するに従い、高次波の位相が水深現象とともに基本波の位相よりも進む事が見られ、また、図-3に示された基本波、2次波の位相速度より、基本波の位相速度が碎波手前で1度減少し、その後、急増するという特徴的現象が見られる。

4. あとがき

以上、現時点での結果の一部を報告したが、より多くのケースについて実験解析が必要であり、現在継続中である。また、理論値との比較検討中である。

参考文献

- 1) 田渕幹修・滝川 清：斜面上の波の碎波特性に関する研究；第34回海岸工学講演会論文集，pp 41～45，1987